

若者のアウトバウンド推進実行会議（第二回） 議事要旨

日 時：令和2年2月3日（月）14：00～15：30

場 所：全日通霞が関ビルディング8階大会議室B

構成員：別添参照

【議題（1）本会議の設置趣旨について】

- 観光庁より、資料1に基づいて会議の設置趣旨を説明

【議題（2）応援プログラムの取組について】

- 観光庁より、資料2-1に基づいて観光関係業界等が取り組んでいる応援プログラムについて説明

【議題（3）若者のアウトバウンド実態調査結果について】

- 観光庁より、資料2-2に基づいて若者のアウトバウンドに関する実態調査について説明

【議題（4）「ハタチの一步-20歳 初めての海外体験プロジェクト-」について】

- 一般社団法人日本旅行業協会（JATA）より、資料3に基づいて説明

<概要>

- ・ 2019年度「ハタチの一步-20歳 初めての海外体験プロジェクト-」の実績としては、9カ国・地域の11コースに合計172名の若者が参加し、非常に好評であった。
- ・ プロジェクトに賛同頂いた航空会社には無償の航空券、政府観光局にはホテル、食事等の地上手配をご提供頂いた。このほか、旅行会社には添乗員の派遣や空港会社にはパスポート代の補助等、本日、御参加いただいている皆様にお力添えを頂き、改めてお礼申し上げます。
- ・ 次年度のコースに関しては、今年度未参加の国や地域から希望を頂いており、現在最終調整を行っているところであるが、3月19日の帰国後報告会において公表する予定。
- ・ プロジェクトを通して、参加者は非常に感度が高く、機会さえあれば海外にたくさん旅行し、国際交流の担い手になる若者はたくさんいると確信した。3年間はプロジェクトを継続する予定であるため、引き続きのご協力をお願いしたい。

●内閣府クールジャパン地域プロデューサーより御発言

- ・ 「126万人の新成人の中から200人が選ばれ、本当にラッキーな人が海外に行った」これをどれだけムーブメントにするか、6,300倍にどう持って行くかがポイント。SNSでどのくらいリツイートがされたのか、定点観測の数字を毎週、毎週追いかけていく仕組みづくりが重要。
- ・ キャンペーンをやっているときだけ盛り上がるのではなく、365日海外旅行に若者が行きたいんだという盛り上がりがあるかをデジタル上で見える化してやっていくということが、EBPM（エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング）だと思う。「ハタチの一步」が、データの見える化、デジタルファースト等に基づく、若者の心を変えていく政策に向け、本当にかじを切られるといいのではないかと。

【議題（５）各構成員からの報告事項】

●文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクトチームより、資料４に基づいて説明

<概要>

- ・ 2020年までに日本人留学生を大学生等12万人、高校生6万人まで倍増させることを目標としているところ、2017年の実績は、大学生の留学数は約10万5000人、高校生の留学数は約4万7000人とともに過去最大を記録している。この目標を達成するために「トビタテ！留学JAPAN」が開始され、2020年で終了の予定であったが、今後5年間の継続はほぼ決定しており、第2弾に向けてとりまとめを行っているところ。244社を超える企業・団体から支援して頂いた117億円を、今年1万人送り出すことで使い切る予定であるため、引き続きのご支援をお願いしたい。
- ・ ジュース等を購入すると寄付される寄付型自動販売機の設置や、購入すると寄付されるチョコレートの販売を行っている。購入された金額の一部が寄付されるものであり、少しでも留学に興味を持ってもらうことを目的としている。
- ・ 高校生の初めての海外体験を応援する「#せかい部」というプロジェクトを実施している。非常に多くの若者から応募があり、非常に好評であったため、今年も実施する予定。引き続き、お見知りおき頂き、応援頂きたい。

●東京国際空港ターミナル株式会社より、資料５に基づいて説明

<概要>

- ・ 本年3月末に国際線が大増便する予定であり、従来の約1.4倍の国際線が運行することになるため、これまで国内線専用でした第2ターミナルの一部を、国際線として運用開始する。現在、国、エアライン、交通事業者とともに広報活動を行っているところである。これまで羽田から直行便で行けなかった地域へも非常に多く行けるようになるため、ますます羽田空港の利便性は上がっていくと考えている。
- ・ 当空港のメリットとしては、国内48路線と日本の中のネットワークがつながっていることである。首都圏在住者と比べると、地方在住者、特に若者のパスポートの取得率が悪く、海外に対する興味も薄いと考えられているが、このメリットや国際線の大増便を活用して、ぜひ羽田空港から世界に行ってほしいと考えている。

●成田国際空港株式会社より、資料６に基づいて説明

<概要>

- ・ 成田空港の強みは、航空運賃が比較的低廉なLCCの航空会社に利用頂いており、アジアを中心に各航空会社の就航が相次いできていることである。LCCの拠点化が成田空港におけるLCCのネットワーク強化にもつながるため、今後さらに伸びていくと期待している。このLCCの就航をいかに受けとめていくかについて、第3ターミナルを拡張する計画を立て、2019年9月に到着ロビーの増築を行った。さらに、2021年度をめどに、第3ターミナルの増築を行い、当初の倍の年間1,500万人に利用頂ける環境をつくりたいと考えている。
- ・ 昨年10月末から、夜0時まで運用できるよう1時間延長した。これにより、中東、アジアや国内

の便が大幅に増え、航空会社に有効的に利用頂いている。また、成田空港は都心部から少し距離があるため、バス、鉄道、それぞれ時間を遅らせるダイヤ改正も行い、利用者の不便が発生しないよう対応している。

- ・ 昨年、タイ国観光庁とTABIPPO、成田空港の3社でタイアップしながら、パスポート取得応援キャンペーンを展開したところ。当初200人を先着で予定していたが、上回る260名から応募があり、先着200名様にキャッシュバックを行った。このキャンペーンはSNSを活用した新たな取組みであったが、今後もSNSを利用した取組みを進めていきたい。

●日本学生観光連盟より、資料7に基づいて説明

<概要>

- ・ 「もっと大学生は海外へ！」をコンセプトに若者のアウトバウンド促進を目的とするプロジェクトを実施。2019年度は多くの学生に周知させる目的で、タイのモニターツアー報告会を改めて開催。その後、懇親会という形で、タイモニターツアー参加学生と学生の交流を図った。
- ・ 2018年のツーリズムEXPOのアンケートに、海外旅行に行っていない学生をどうやって海外旅行に行かせたらいいのかという回答があり、その意見をもとに、海外旅行の魅力を同年代の若者に発信するためには、どのようなアイデアがあるのかというテーマでコンテストを実施。優勝者に航空券を贈呈し、自分が企画した発信方法で実際に旅行し、その魅力を発信することになっている。

●ダイヤモンド・ビッグ社より、資料8に基づいて説明

<概要>

- ・ 女性を主にターゲットとした取組みとして、インフルエンサーと共同で旅行本を作成。撮影のポイント、場所を具体的に紹介し、自身で同様の写真がSNSに投稿できる場所の提案や、QRコードを使った動画へのリンクを掲載、さらに読者を集めたイベントを行っている。
- ・ アンケートを実施したところ、過去3年間の海外旅行の経験回数が1回以上の20代経験者は女性が約8割に対して、男性は約6割に留まっている。また、1回以上行ったという回答者を抽出したデータでは、20歳代女性の同行者は友人の次に親が高く、男性は友人とともに1人が高い。
- ・ 旅行先決定に決め手となった情報について、20代女性はインスタグラムを4割近く選んでいるものの男性は15%で、Webサイトと知人の誘いや体験談が多い。男性の友人との旅、男性のひとり旅を促進するために、男性の同世代で旅している方、あるいは男性のインフルエンサーの創出をバックアップしていくこと、また、学生あるいは留学生の方が旅体験を語るような会を学内でやるのが効果的と考えている。
- ・ 旅先でのネット、通信環境の設定については、20、30代はほぼ100%が海外でのセットアップをしている。20代の男性で5割ぐらいの方はSIMカードを利用しており、価格コンシャスであることが見て分かる。

【議題（5）その他】

●公益財団法人日本修学旅行協会より御発言

- ・ 長期的に考えると、10代も含めたターゲットにも今後アクションをするべき。トビタテの留学の

場合、大学生のうち1割から2割ぐらいが初めて海外に行く人で、ほとんどがリピーターだということを知り、10代の若いうちに海外を経験すると、早い段階でまた海外を目指す機会が多いと感じた。高校時代の修学旅行や学校を主体とした留学の場合、各手続きについて学校等のサポートが手厚いため、長期目線では20代と並行して海外修学旅行等の促進など10代への働きかけも必要と考える。

以上

若者のアウトバウンド推進実行会議

構成員

(敬称略・順不同)

《観光関係団体・事業者》

越智 良典	一般社団法人日本旅行業協会 理事・事務局長
若井 茂	一般社団法人全国旅行業協会 事務局長
大畑 貴彦	一般社団法人日本海外ツアーオペレーター協会 会長
秋保 哲	全日本空輸株式会社 マーケティング室観光アクション部観光政策・海外誘客推進担当部長
柏 頼之	日本航空株式会社 執行役員
田中 淳隆	関西エアポート株式会社 執行役員副最高商業責任者(航空担当)
中村 治男	中部国際空港株式会社 営業推進本部航空営業部長
平田 達志	東京国際空港ターミナル株式会社 企画部シニアマネージャー
宮本 秀晴	成田国際空港株式会社 上席執行役員経営企画部門副部門長
高橋 亨	在日航空会社代表者協議会 副会長
マサボ・イザベル	駐日外国政府観光局協議会 事務局長
陳内 裕樹	内閣府クールジャパン地域プロデューサー
東野 正剛	ショートショート実行委員会 フェスティバル・ディレクター
奥 健	株式会社ダイヤモンド・ビッグ社 地球の歩き方事業本部 部長

《経済関係団体》

堀内 保潔	一般社団法人日本経済団体連合会 産業政策本部長
佐々木 淳	全国商工会連合会 企業支援部長
五十嵐 克也	日本商工会議所 地域振興部長

《教育関係団体》

岡田 俊二	公益財団法人全国修学旅行研究協会 事務局長
高野 満博	公益財団法人日本修学旅行協会 事務局長
宍戸 学	日本学生観光連盟 顧問(日本大学国際関係学部 教授)

《地方自治体関係団体》

大川 亜沙奈	一般財団法人自治体国際化協会 交流支援部長
--------	-----------------------

《関係省庁》

丸山 浩一

森 和也

松永 賢誕

西川 朋子

三牧 純一郎

小熊 弘明

奈良 和美

外務省 アジア大洋州局中国・モンゴル第一課 地域調整官

外務省 領事局 海外邦人安全課長

文部科学省 高等教育局 主任大学改革官

文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクト 旅行！留学 JAPAN PR チームリーダー

経済産業省 商務・サービスグループ クールジャパン政策課長

観光庁 参事官（観光人材政策）

観光庁 参事官（旅行振興）